

第68回労働施設検討会議 議事要旨

1 と き 令和7年2月27日(木) 午後7時00分～午後8時45分

2 ところ 西成区役所 4階 4－5・7会議室

3 出席者

(有識者3名)

福原大阪市立大学名誉教授

寺川近畿大学准教授

白波瀬関西学院大学人間福祉学部教授

(行政機関14名)

大阪労働局 平松会計課長補佐、大島職業対策課長補佐、ほか2名

大阪府商工労働部雇用推進室労働環境課 佐々木参事 ほか6名

西成区役所 大場保健福祉課長、竹内総合企画課長代理、ほか1名

(地域メンバー14名)

山田大阪府簡易宿泊所生活衛生同業組合相談役

山田大阪国際ゲストハウス地域創出委員会委員長

山田NPO法人釜ヶ崎支援機構理事長

山田NPO法人サポータィブハウス連絡協議会代表理事

小林公益財団法人西成労働福祉センター業務執行理事

荘保わが町にしなり子育てネット代表

森下釜ヶ崎キリスト教協友会共同代表

穴沢釜ヶ崎反失業連絡会共同代表(代理)

山中釜ヶ崎日雇労働組合委員長

泊全日本港湾労働組合関西地方本部建設支部西成分会代表(代理)

稲垣釜ヶ崎地域合同労働組合執行委員長

水野日本寄せ場学会運営委員

ありむら釜ヶ崎のまち再生フォーラム(渉外担当)

小林住まいとくらしSOSおおさか実行委員会共同代表

4 議 題

就労福祉専門部会からの提案について

5 議事要旨

(1) 前回会議の振り返り

（２）主な議事の概要

- ・ 就労福祉専門部会からの提案について

（３）主なご意見と今後の対応

＜主なご意見＞

○ ワンストップ相談窓口等の配置の影響等について

- ・ 新労働施設は４階建てで、それぞれエリア決まっていたが、２階あたりのエリアぐらいで収まるのか、あるいはワンフロア分が新たにいるのではないか。どれぐらいの規模をイメージされてるのか。
- ・ 新たに機能を増やすとして、予算を上積みしてでも充実させる気があるのか。
- ・ このイメージをやろうと思ったら、１人や２人配置して、形だけ整えてもしかたない。必要な人員を配置しないとうまくいかないのではないか。
- ・ 福祉領域も重なった就労希望もある中で、ワンストップ相談窓口を維持運営していくために、府市の垣根を越えてどのように話し合われているのか。

○ 国（大阪労働局）の関わり方について

- ・ あいりん職安の義務として、積極的に職業紹介を行うこと。労働者にとって、この紹介実績では進んでいるとは言えない。
- ・ あいりん職安は一番の責任所在としての自覚を持つこと。
日雇い労働者の紹介だけでなく、もっと色々な人が新労働施設で仕事を見つけることができるように国が主導してやる、という姿勢をぜひとも見せてほしい。
- ・ そもそもあいりん労働福祉センターや釜ヶ崎の主要施策は全て国が作ったもの。
経緯を踏まえて、今後の新しい労働施策や寄り場機能の確保も含めて、国が全面的に責任を持つこと。
府市に任せて知らん顔するのだけはやめてもらいたい。
- ・ サポートィブハウスなどに住んでいる方は、障がい等で一般就労できない方が多い。
一般就労以外の相談や職業紹介を行っていただける体制を国の責任で整備していただきたい。

＜今後の対応＞

- ・ ワンストップ相談窓口は非常に有効なもので、具体的な形に作り上げていく方向で共通認識を持てた。
- ・ 新労働施設に生活保護相談窓口及び結核検診機能を配置することについて、提案いただいた。
この機能が本当に受け止められるのか、今後、議論して行きたい。
- ・ 増加する外国人労働者、高齢化する労働者、障がいを持った方など多様な人たちを受け止められる状況を作っていくことが大事になってきている。

- ・ 新労働施設については、基本設計までできているため、計画を見直していく場合の課題や今後の進め方について、事務局から可能な範囲で説明いただき、皆さんと丁寧に議論して行きたい。

6 会議資料

配布資料

- ・ 第 67 回労働施設検討会議 議事概要（案）
- ・ 就労福祉専門部会からの提案資料（西成区役所）

参考資料

- ・ 第 67 回労働施設検討会議 議事要旨（案）